

# デイリー・ジーザス・ニュース #256

受難週の火曜日…試練と教えの日

パリサイ人とヘロデ党員がイエスに質問する  
シーザーへの貢物について

マタイ22章15-22節（並行聖書：マルコ12章13-17節、ルカ20章20-26節）

15 そこで、パリサイ人たちは出て行って、イエスを言葉で罠にかけようと計略を巡らせた。16イエスを注意深く見張っていた彼らは、正直者を装ったスパイを送り、イエスの言葉に何か引っかけて総督の権力と権威に引き渡そうとした。彼らは弟子たちとヘロデ党員たちをイエスのもとに送った。

「先生」と彼らは言った。「私たちはあなたが誠実な方であり、正しいことを語り、教え、真理に基づいて神の道を歩んでいることを知っています。あなたは他人に惑わされません。なぜなら、相手が誰であるかを気にかけないからです。」

17 「それでは、あなたの意見はどうですか。皇帝に税金を払うのは正しいことでしょうか、それともすべきでないでしょうか。払うべきでしょうか、それとも払うべきではないでしょうか。」

18 しかしイエスは彼らの偽善と偽善を見抜かれました。彼らの悪意を知って、こう言われました。

*「あなたたち偽善者よ、なぜ私を罠にかけようとするのですか？ 19 税金の支払いに使われるコインを見せてください。Mデナリオンを持って来てください。見せてください。」*

イエスは彼らに尋ねました。「これはだれの肖像ですか。だれの銘が刻まれているのですか。」

21 彼らは答えた。「カイザルのものです。」

そこでイエスは彼らに言われた。*「だから、私はあなた方に命じる。皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」*

22 彼らはこれを聞いて、イエスに驚きました。（M）そして、公衆の面前でイエスが語った言葉で、彼らを罠にかけることができませんでした。そして、イエスの答えに驚いて、彼らは黙ってしまいました。（MT）そこで彼らはイエスを残して立ち去りました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マルク = M、ルカ = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、*赤いイタリック体はイエスの言葉を示します*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの神殿の庭
タイムライン	4月上旬（39ヶ月目）
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	C. 火曜日：テストと指導の日
タイトル	6. イエスは皇帝への税金の支払いについて尋問される

## デイリー・ジーザス・ニュース #256

コメント：

今日の朗読は、サンヘドリンのユダヤ人指導者たちからイエスに投げかけられた3つの質問の始まりです。イエスが朝、最初の質問に答えず、続いて3つの力強いたとえ話を語ったことから、彼らは黙ってイエスを放っておくべきだと悟ったはずですが、しかし、彼らは嫉妬、羨望、憎しみに目がくらんでいたため、そうすることができませんでした。

彼らはすぐに、イエスを罠にかけようとした自分たちの取るに足らない試みを後悔し、イエスの知恵にただただ驚嘆して再び沈黙することになるだろう。

三つの質問は、彼らの最も優れた知性によって、十分な準備と慎重な検討を経て投げかけられたものでした。一方、イエスは、命がかかっている中で一つ一つの答えを迫られ、準備する時間はありませんでした。必要な時に与えられた聖霊の力と知恵は、イエスにとって十分すぎるほどでした。敵が飢えたハゲタカのように彼を取り囲んでいたにもかかわらず、イエスは冷静沈着で、恐れを知らずにいました。

イエスを殺害する口実となるような、イエスの失言を暴こうとする共通の願望が、宗教的・霊的な敵対者を共謀者として結集させた。この最初の問いかけは、パリサイ人とヘロデ党員を親友のように結びつけた。これはまるで、致死性のウイルスと抗生物質が協力して病気を闘うかのような状況だった。二つのグループは互いに相容れない存在だった。彼らの協力は、彼らがイエスへの共通の憎しみをどれほど共有していたかを物語っている。

その質問は見事だった。もしイエスが皇帝への貢物—皇帝が世界の主であることを認める個人的な貢物—を支持すると答えれば、パリサイ人とヘロデ党員はイエスを神への霊的姦淫、そして自らの民への反逆罪で告発できるだろう。一方、もしイエスが貢物に反対すると、彼らはイエスを皇帝への反逆を扇動した罪で告発し、イエスはローマ人によって反逆罪で十字架刑に処せられるだろう。どちらの答えをしても、イエスは破滅する運命にあったようだ。

イエスの賢明な返答は、真理の力と自由に満ち溢れています。それはまるで全知の答えのようです。筆者にとって、これはイエスが語った言葉の中でも最も驚くべきものの一つです。しかし、栄光の主であるイエスにとって、このように語ることは容易なことでした。それはイエスの特質でした。なぜなら、イエスは神の生ける言葉だからです。

イエスの答えは、神の像はすべての人、そしてカエサルにさえも刻まれているという点を強調していました。世界中の硬貨のうち、カエサルの像が刻まれているのはほんのわずかです。すべての人は神の像に創造されています。ですから、カエサルを含め、すべての人は神の前で、魂、心、思い、力を尽くして神を愛し、仕えるという、霊的かつ道徳的な責任を負っているのです。

さらに、神の権威は、はるかに劣るカエサルの権威を確立しました。カエサルが権力を握っていたのは、神から与えられたからにはかなりません。金曜日にピラトの前で行われた裁判で、イエスはこう言われました。「上から与えられたのでなければ、あなたは私に対して何の権威も持ちません。」(ヨハネ19:11A)

## デイリー・ジーザス・ニュース #256

シーザーが貨幣に自分の肖像を刻むことができたのは、神がそうするように定めたからです。シーザーが要求した貢物をシーザーに渡すことは、事実上、神がシーザーにその権威を与え、シーザーに対する主権者であることを認める行為でした。

イエスの時代を超えた答え、「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい」は、文字通り、不可能と思われた問いに対する完璧な答えでした。イエスは神の権威を肯定し、神のかたちに創造された人間は、神が定めた人間の制度や権威を尊重することによって神の権威を尊ぶ責任があることを認めました。これは、解決困難な問題に対する、見事かつ簡潔で、洗練された解決策でした。

応用：

イエスは、12使徒たちをガリラヤへの3度目の巡回旅行に派遣する前に、1年前に彼らにこう言っていました。

16 「わたしはあなたがたを、羊を狼の群れの中に遣わすように遣わす。だから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ。17 用心深くあれ。あなたがたは地方議会に引き渡され、会堂で鞭打たれるであろう。18 わたしのゆえに、あなたがたは総督や王たちの前に引き出され、彼らと異邦人に対する証人となるであろう。19 しかし、捕らえられたとき、何を言うべきか、どのように言うべきかと心配するな。その時、あなたがたは何を言うべきか教えられるであろう。20 話すのはあなたがたではなく、あなたがたの父の霊があなたがたを通して語るのである。」 ( マタイ10章16-20節、NIV )

イエスは受難週の火曜日に敵の質問に答えた時、この真理と姿勢を示されました。私たちは、イエスがこれらの聖句で約束されたことを必ず果たしてくださると確信できます。

あなたの証しにおいて、聖霊の知恵と導きを得るために、どのようにイエスに頼る必要がありますか？

今日の朗読にあるイエスの例に倣い、あなたはどのように新しい方法でそれを実行しますか？